

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東海北陸地区（主担当大学： 名古屋大学）
事業名	平成 26 年度東海北陸地区国立大学図書館協会研修会 図書修理実践講座「本を優しく修理しよう」
事業目的・趣旨	図書館資料をいつまでも利用可能な状態とするため、軽微な補修が必要な資料について、職員自らができるよう、実習を交えた研修会を行う。
実施内容	開催日時：平成 27 年 1 月 23 日（金）13:30～16:00 会 場：名古屋大学附属図書館 5 F 多目的室 主 催：東海北陸地区国立大学図書館協会 講 師：特定非営利活動法人書物の歴史と保存修復に関する研究会 板 倉 正 子 内 容：ミニワークショップⅠ（実技）「上製本・背外れの手当て」 ミニワークショップⅡ（画像）「並製本背割れの手当・上製本表紙断裂の手当」 まとめ・質疑応答 和紙についての知識と扱い、 のりについて ほか
事業の成果 （アンケート調査 結果、事業への意 見・感想等）	参加者数 23 大学 48 名 ＜アンケート調査結果＞ （評価）「大変満足」20 名 「満足」18 名 「普通」1 名 （主な感想） ・これまで独学で行っていた補修の方法を、専門家の指導のもと実際にやってみることができて非常に良かった。不安が解消された。 ・画像による説明より実習の方が頭に入りやすく、分かりやすかった。できればひとつひとつの事例について実習してみたい。 ・実習をもう一例くらいさせて頂けると自信をもって今後の修復にかせると思いました。 ・見るのとするのとでは違うので、ワークの時間を増やしてほしい。 ・自館の本を持ち込んで実際に修理したり、修理方法を聞く機会があると嬉しい。 ・半日ではなく、1日の研修で基本的な修理（ページはずれなど）や、その他のパターンの修理もやってみたかった。また、愛知県で修理の実技が学べる研修が定期的に行われる事を強く希望する。

	<p><事業への意見・感想></p> <p>アンケート結果にあるように、「大変満足」「満足」が大半を占めるとともに図書修理に関する講習会の需要があることがわかった。今後本助成が継続されるようであれば、続編の開催を検討したい。</p>						
経費	<table> <tr> <td>講師謝金・交通費</td> <td>69,280 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>25,932 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>95,212 円</td> </tr> </table>	講師謝金・交通費	69,280 円	消耗品費	25,932 円	合 計	95,212 円
講師謝金・交通費	69,280 円						
消耗品費	25,932 円						
合 計	95,212 円						